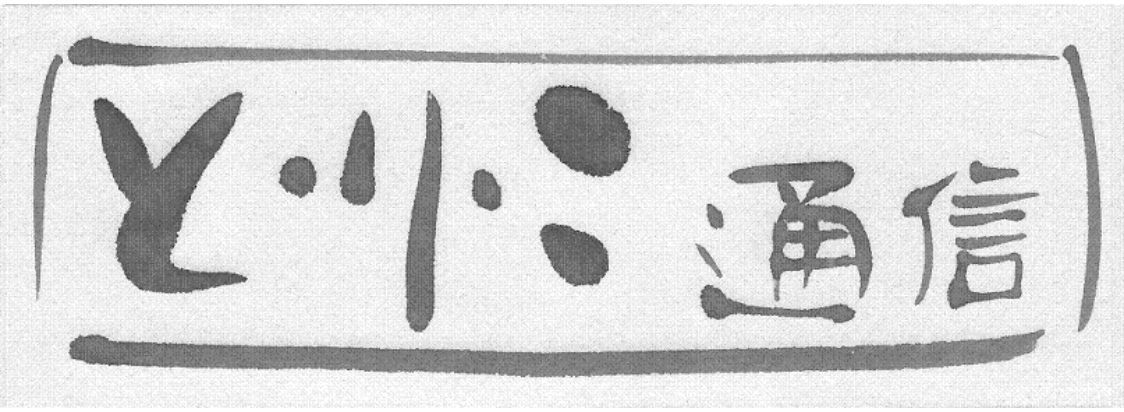
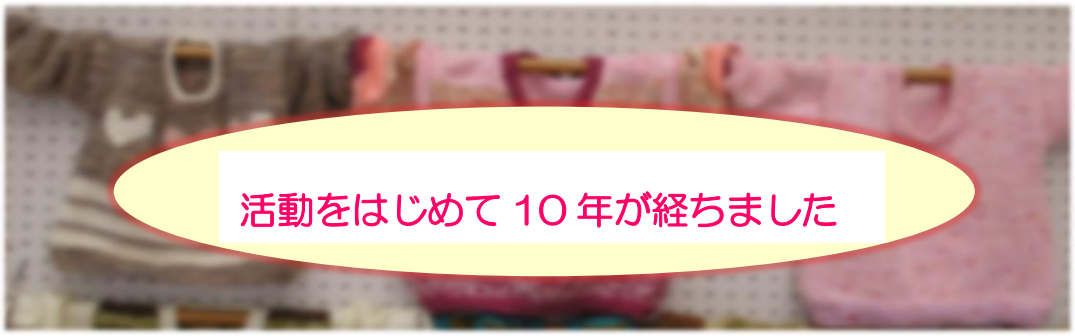
NPO 法人　世界の子どもたちに暖かいセーターを送る会



２０１８年４月　「と・り・こ 通信」第１８号
編集・発行　　ＮＰＯ法人「世界の子どもたちに暖かいセーターを送る会」



この活動をはじめたきっかけは、最近では編み物をする人が少なくなって使わない毛糸をそのままにしてしまい込んでいるという話を聞くことが多くなりました。その時思ったのは、毛糸をそのままにしておくのはとてももったいないということです。

また世の中には、紛争や地震・災害で家をなくし、寒さに震えているちいさい子どもたちがたくさんいることも気にかかることでした。そんな子どもたちにセーターを送ってあげようと 2007 年に NPO 法人を立ち上げ、いろいろな人に呼びかけてセーターを編んでもらうよう働きかけました。やがて 1 枚 2 枚とかわいいセーターが届けられてくるようになりました。集まったセーターは、NPO 法人日本救援衣料センターや NGO を通じてモンゴル・ミヤンマー(アジア)、エチオピア・カメルーン(アフリカ)、イエメン(中東)等の国々に送り届けることができました。

2011 年には東北地方で大震災が発生し、私たちはあらゆる機会を通じてセーターを送り届けてきました。

活動をはじめてから昨年 11 月までに届けたセーターは 3210 枚になりました。会員、賛助会員、サポーター、ボランティア、地域のかたがたのたくさんの人のご協力をいただいて私たち NPO の活動を続けることができました。心から感謝のことばを述べたいとおもいます。ありがとうございます

毎年　セーターを送りつづけてきました

2011年東北大震災発生の年から、陸前高田市には毎年セーターを送り続けてきました。ご縁があって、菅野浩子さんのお世話になりセーターの配布をすることができました。菅野さんは市内の保育園などを巡って届けていただきました。その後 NPO 法人きらりんきっずも加わって、毎年子どもたちのセーターを着たかわいい写真が送られてきます。セーターが役にたって喜ばれている実感が写真から感じられます。

昨年12月26日　地元の新聞「東海新報」の記事に私たちNPOの活動紹介とNPO法人きらりんきっずのメンバーが協力してセーターを保育施設などに配布する活動の状況が掲載されました。

←写真は菅野さん宅に届いたセーターを見て楽しむメンバー

陸前高田市地域子育てセンターあゆっこでのコメント

・黄色のセーターをいただきました。大きめですが長く着たいとおもいます。大切に着ます。

・ママも本人も気に入っています。さっそく活躍してもらおうと思います。(笑)

・震災後仙台市から嫁ぎました。39 歳で初産で子育てに不安もありましたが、皆様のお心に支えられて感謝して毎日過ごしています。ありがとうございます。

・手作りの暖かさを感じ、とても幸せなきもちになりました。大切に着させていただきます。

サポーターの方から紹介をいただいて、アフリカ・ウガンダへセーターを送り届けることができました。あしなが育英会の活動の一環としてウガンダの支援活動をされている淵由香里さんのご尽力で実現できました。ウガンダでの子どもたちの様子をリポートして送っていただきました。

「Sannyu　Babys Home」　セーターを着た子どもたち

ウガンダより、セーターレポート　　2018年３月12日

ウガンダは赤道直下で、常に暑いと想像しがちですが、標高が高いので気温はさほど上がりません。首都カンパラ付近だと、乾季は30度ほどになりますが涼しい風が吹くので過ごしやすく、雨季は10度～15度とセーターが必要な気候です。

セーターを何回かに分けてウガンダに持って行ったものの、第一便は Sannyu Baby's Home という孤児院に届けました。ここでは０歳～4歳までの子ども達が暮らしています。多くは、4歳になるまでに里親を見つけて、養子として引き取られます。

2017年12月に、私たちレインボーハウスが主体となって、地域の子ども達のためのイベントを開きました。フェイスペインティングやミニ運動会、塗り絵コーナーや読書スペースなど地域の子ども達が自由に出入りして楽しめるイベントです。近隣には、児童館や図書館がなく、ましてや家に本や色鉛筆がある子もほとんどいないので、子どもたちはとても楽しんでいました。
セーターのいくつかを、このイベントで配布しました。塗り絵コーナーで上手に色が塗れた子を何人か選んで、文房具などの賞品を配りました。サイズが合う子には、賞品としてセーターをプレゼントしました。

我々の住む地域の貧困家庭というのは、家に電気と水道がなく、１日200円程度の収入で暮らす家庭が多いです。家によって電気はありますが、水道はない家がほとんどです。井戸から汲むか、近隣の共同水道から買ってポリタンクに保管してあります。家は大体が一部屋のみで、子どもが多い家はひとつのマットレスに子どもたちがひしめきあって寝ます。
ウガンダの政策では、無料初等教育を謳っていますが、制服や教科書代は個人負担で、その費用が払えずに学校にいけない子が多くいます。新しい洋服を買ってもらった経験などないそんな子供たちにとって、暖かい新品のセーターは宝物になったはずです

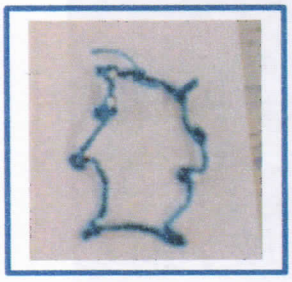
←電気のない家は、ろうそくの明かりで夜を過ごします

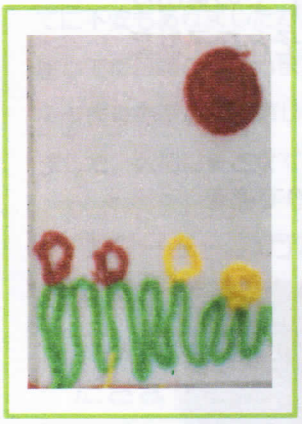
→イベントで塗り絵を楽しんでいます。家に色鉛筆のある家は少ないです。

写真・文責：渕由香里

（あしながウガンダレインボーハウス）

※西東京市栄小学校のイベント「栄に集まれ」で子どもたちが楽しんで制作した作品の数々をご覧ください。





♥2017・4月～2018・3月の活動

5/5　日本救援衣料センターへセーター50枚送付
5/22　あしなが育英会へセーター100枚送付
5/30　あしなが育英会へセーター50枚送付
6/30日本救援衣料センターへセーター40枚送付
7/10　定例会
7/22　※イベント「栄にあつまれ」で「ゆびであんであそぼ」を開催
7/23日本救援衣料センターへセーター37枚送付
7/26　会計監査実施
7/30　定例総会開催
10/5日本救援衣料センターへセーター35枚送付
10/30NPO市民フェスティバル打ち合わせ会に出席
11/6　定例会
12/20　釜石子ども園にセーター20枚送付
1/13　NPO市民フェスティバル事前説明会に出席
1/20　NPO市民フェスティバルに出展

毎月第1・3火曜日ニットカフェと・り・こ開催（但し8月・1月は月1回開催）
毎月第3金曜日活動日　緑町「ほっとハウスみどり」で毛糸の整理

★セーターの送料の募金をお願いしています！

編んでくださったセーターを寒さに震えている子どもたちの国に送るための送料が、セーター1枚につき約100円必要です。この活動を継続するための寄付を募集しています。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

郵貯銀行振込口座をご利用ください
口座番号　00100-1-0456969
口座名　特定非営利活動法人世界の子どもたちに暖かいセーターを送る会
他行からの振込みは下記にお願いします
振込み店名　019店
預金口座　当座　口座番号0456969

お問い合わせは、NPO法人世界の子どもたちに暖かいセーターを送る会
〒188-0004　西東京市西原町4-3-45　8-209
小林すみ子 TEL・Fax 042-462-6667

と・り・こ通信は、随時発行しています。読んだ後の感想やご意見がございましたら、ぜひFAX・メールで事務局までお寄せください　FAX 042-462-6667
Email　yoshimi-koba@jcom.home.ne.jp